

### 今年も「教育カレンダー」が完成しました!!

～子どもたちの素晴らしい作品を掲載～

千葉教弘では、平成5年度より「教育カレンダー」を作成しており、今年度で24年目を迎えました。「教育カレンダー」は、千葉日報社と千葉県教育会館のご協力により、こども県展の優秀作品から原画を採用し、作成しています。今年度も数々の素晴らしい作品の中から12点を選定し、2月末に「教育カレンダー」が完成しました。3月末までには皆様の学校にお届けいたしますのでぜひご利用いただきたいと思います。



\*平成29年度教育カレンダー\*

### 作品を掲載させていただいた子どもたちにお話を伺いました!



◆7月◆



#### 「公園へつづく木々」

千葉市立有吉中学校 2年 稲益 拓海さん

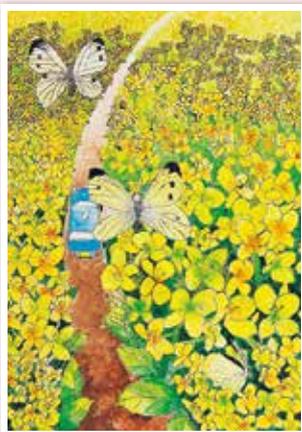
2月2日(木)、稲益さんへのインタビューを行うために、有吉中学校を訪れました。桐原校長先生、若海先生(美術担当)とともに校長室でお話を伺うことができました。

Q:カレンダーに掲載された感想等を聞かせてください

「カレンダーに掲載される」と聞いてとてもうれしく思いました。美術部に所属していて、普段から絵を書くことが大好きです。夏休みも利用し、たくさんの時間をかけてこの絵を完成させることができました。全体のバランスと遠近感が特に苦労したところで、色合いを工夫しながら仕上げました。将来も絵に関することを続けていきたいと思っています。



桐原校長先生 稲益さん 若海先生(美術担当)



◆4月◆



#### 「楽しく遊ぶちょうちよたち」

いすみ市立浪花小学校  
4年 吉野 妃花琉さん

2月6日(月)、いすみ市立浪花小学校を訪問しました。府川校長先生、担任の渡邊先生と一緒に、吉野さんから直接お話を聞かせていただきました。

Q:カレンダーに掲載された感想等を聞かせてください

カレンダーに掲載されてとてもうれしいです。図工の授業が好きで絵を書くことも大好きです。全校で取り組んだ「ちょうちよの羽化」の勉強をきっかけに、この絵を書こうと思いました。菜の花を一つずつ書いて塗るところが特に苦労しました。菜の花を大きく書いたり、小さく書いたり工夫しました。将来は画家になって大好きな鳥の絵を描きたいです。



吉野さん

作品を掲載させていただいた児童・生徒の皆さんありがとうございました

# 子どもたちのための教育振興事業

## 平成28年度 教育実践研究論文 結果発表!!

2月2日(木)15名の論文審査委員の皆様にご出席をいただき、平成28年度教育実践研究論文審査委員会(二次審査)を開催いたしました。本年度は、「学校・団体部門」「個人・グループ部門」合わせて60点の応募があり、厳正なる審査を経て、右ページに記載しましたように、各賞が決定いたしました。最優秀賞をはじめ受賞者の皆様、誠にありがとうございます。

来年度も、より多くの皆様からの応募をお願いいたします。

▶二次審査の様子



最優秀賞

◆ 学校・団体部門 ◆

**下総みどり学園**

代表者 高山 勇 校長

最優秀賞

◆ 個人・グループ部門 ◆

千葉県立桜が丘特別支援学校

**大高 勇輝 教諭**

◆ テーマ ◆

**小中一貫教育の在り方について**

～受賞者へのインタビュー～

「義務教育9年間、連続した学びで子どもたちを大きく伸ばす」ことを目指し、様々な教育活動を創出して3年。異学年交流活動を重ねるうちに、中学生は小学生に優しくなり、小学生は中学生にあこがれて、礼儀正しくなるなど、どの学年の子どもたちも大きく成長していく様子を目の当たりにし、「教師冥利に尽きる」毎日を過ごしております。

そんな子どもたちの活動の様子をまとめた論文で戴いた最優秀賞。本当にうれしく思うと同時に、ひたむきに誠実に、生き生きと活動している子どもたちと出会えたことに改めて感激を覚えました。

「多くの方にご来校いただき、実際の本校の子どもたちははじける笑顔を見ていただきたい」と思っています。小中一貫教育のますますの可能性を信じ、子どもたちのさらなる成長に邁進していきます。このたびの最優秀賞本当にありがとうございました。



▲縦割り清掃



▲ビブリオバトル

◆ テーマ ◆

**「伝える」力を育み、「伝わる」喜びを  
実感できる授業作り**

～受賞者へのインタビュー～

最優秀賞の受賞とても光栄です。同時に大変恐縮しております。

昨年、5、6月くらいから思考をはじめ、7月から肢体不自由のある生徒が「自作英語昔話」の読み聞かせを通して、より良く伝える方法を考えました。

実践していく中で生徒に「伝える」力を育ててほしいと願い、本研究を行いました。人前に出ることが苦手だった生徒が、文化祭で大観衆を前に堂々と発表した姿は、今でも鮮明に覚えています。生徒の心が動く瞬間を目の当たりにできたことは、何にも代え難い喜びでした。

今後も生徒の「伝える」力を育み、表現する喜びを感じられる授業作りを目指し、研鑽を重ねたいと思います。



大高先生

“最優秀賞”受賞  
おめでとうございます!



# 平成28年度 教育実践研究論文受賞者一覧



## 学校・団体部門

<b>最優秀賞</b>	下総みどり学園	校長 高山 勇	小中一貫教育の在り方について
<b>優秀賞</b>	銚子市立清水小学校	校長 滑川 雅宏	児童一人一人の思考力・表現力を高める学習指導の在り方
<b>優秀賞</b>	千葉市立松ヶ丘小学校	校長 川邊 敏明	悩みを抱える児童を支援する校内体制づくりについての研究
<b>優良賞</b>	袖ヶ浦市立蔵波中学校	校長 御園 朋夫	教育課程に位置づけた学校図書館活用の実践
<b>優良賞</b>	流山市立流山小学校	校長 田根 洋	共に学び合う児童の育成

## 個人・グループ部門

<b>最優秀賞</b>	千葉県立桜が丘特別支援学校	教諭 大高 勇輝	「伝える」力を育み、「伝わる」喜びを実感できる授業作り
<b>優秀賞</b>	千葉市立検見川小学校	教諭 安部 功貴	自己を見つめ、思いや考えを豊かに表現する児童の育成
<b>優秀賞</b>	千葉市立宮崎小学校	教諭 兼子 稔	推論する能力を育てる理科学習
<b>優良賞</b>	勝浦市立興津小学校	教諭 田崎 優一	主体的に学習にとりくむ児童を育てる教材の工夫
<b>優良賞</b>	松戸市立上本郷小学校	教諭 湯本 諒 教諭 渡邊 裕子 講師 夏井 友紀	わくわくドキドキする魅力的なゲームを通しての社会性の育成
<b>優良賞</b>	柏市立田中北小学校	校長 池田 一美	学力向上を目指す学校経営
<b>優良賞</b>	旭市立滝郷小学校	教諭 見山 望	随筆の特性を活かして「書く力」を高める学習活動の工夫

## 奨励賞

### 学校・団体部門

校長 關 晶子	千葉県立実籾高等学校
校長 吉田 富昇	千葉県立流山おおたかの森高等学校
校長 渡邊 岩夫	習志野市立実花小学校
校長 平瀬 典子	八千代市立萱田南小学校
校長 阿部 雅彦	野田市立柳沢小学校
校長 菊岡 義一	流山市立東小学校
校長 小島 邦夫	鎌ヶ谷市立東部小学校
校長 依知川 典子	成田市立久住小学校
校長 佐瀬 一生	九十九里町立九十九里小学校
校長 三上 雄二	御宿町立御宿小学校
校長 渡邊 宗七	いすみ市立大原小学校
校長 山口 一也	君津市立八重原小学校
校長 渡邊 博典	千葉市立小中台中学校
校長 備中 隆文	千葉市立花見川中学校
校長 西澤 康男	市川市立福栄中学校
校長 若菜 秀彦	浦安市立明海中学校
校長 尾川 幸男	いすみ市立岬中学校
校長 大河原 敏雄	木更津市立金田中学校
校長 吉野 和雅	市川市立行徳小学校

## 奨励賞

### 個人・グループ部門

教諭 中川 雅彦	千葉県立千葉中学校・千葉高等学校
教諭 小賀野 大一	千葉県立検見川高等学校
教諭 村上 元一	千葉県立浦安高等学校
教諭 鳥塚 義和	千葉県立柏中央高等学校

教諭 大上 恵司	千葉県立佐倉南高等学校
教諭 條 冬樹	千葉県立船橋北高等学校
教諭 中村 吉伸	千葉県立桜が丘特別支援学校
教諭 渡部 智美	千葉県立仁戸名特別支援学校
教諭 山田 康朝	千葉県立松戸特別支援学校
教諭 濱本 武將	千葉県立特別支援学校市川大野高等学園
教諭 渡邊 美穂	千葉市立院内小学校
教諭 若松 祐次	船橋市立八栄小学校
教諭 戸田 道也	浦安市立舞浜小学校
教諭 河野 太郎	市川市立大和田小学校
教諭 鈴木 美菜	市川市立大和田小学校
教諭 富永 加代子	市川市立大和田小学校
教諭 流 雄希	市川市立大和田小学校
教諭 柳田 良雄	松戸市立六実小学校
校長 山口 昌郎	松戸市立梨香台小学校
教諭 井上 昇	柏市立大津ヶ丘第一小学校
教諭 飯森 敬	横芝光町立上塚小学校
教諭 古舘 良純	木更津市立波岡小学校
教諭 伊藤 拓也	千葉市立高浜中学校
教諭 小甲 はな恵	市原市立国分寺台中学校
校長 太田 保	船橋市立湊中学校
教諭 小沼 豊	習志野市立第一中学校
教諭 河瀬 農	八千代市立睦中学校
教諭 根本 栄治	佐倉市立白井中学校
教諭 神原 真人	銚子市立第三中学校

# 大切な お知らせ

## 千葉教弘会員で 今年度人間ドックを受診された方へ



### 忘れていませんか？受診補助の申請

千葉教弘では、皆様の健康管理にお役立ていただけるよう、福祉事業の一環として人間ドック受診補助を行っています。補助の申請をされていない方は、ご連絡ください。



#### 教弘指定医療機関

- +ポートスクエア柏戸クリニック **7,000円補助**
- +イムス八重洲クリニック **7,000円補助**
- +千葉ロイヤルクリニック **3,000円補助**

左記以外の  
医療機関は  
対象外です

- ※ 短期人間ドック(日帰り)に限ります
- ※ 退職前無料ドックおよび50歳ドックに該当の方は対象外となります
- ※ 申請には、領収書(コピー)が必要になります



上記に関するお問い合わせ・受診補助申請は

# ☎0120-10-8851

千葉教弘福祉事業 人間ドック担当 まで

## 編集後記

平成 28 年度、広報紙「きょうこう千葉」の発行を担当しました情宣委員の“谷 宗治”です。本年度は「皆様により身近な広報誌をつくる」をテーマに掲げ、新たに「LCによる学校訪問」や「耳より情報」などのコーナーを設け、直接、皆様の学校を訪問し取材・インタビュー等を行いました。ご協力いただいた皆様に、心から感謝申し上げます。

来年度も教職員の皆様と千葉教弘の距離が少して

も近くなりますよう、よりよい広報誌を発行していきたいと思っています。一年間ありがとうございました。また、来年度もよろしくお願いいたします。

(文責：谷 宗治)

▶ 打ち合わせの様子



来年度の「きょうこう千葉」もおたのしみに!!